

第37回定例総会議事録

(議長 村田 雄穂)

2023年10月15日(日)札幌市・豊平館において第37回定例総会を開催し(出席者19人・委任状41通[会員数93人の1/3超=32人])、以下の議案について審議し、各議案とも過半数の賛成を得て議決されました。

[第1号議案]2023年度(2022.9-2023.8)活動報告について(ラファウ・ジェブカ)

1.《第36回定例総会&懇親会》豊平館、2022.10.30(日)総会15:00～(出席者20人、委任状49通、会員数99人)、懇親会17:00～(参加者44人、うちポーランド人・家族20人)

2.例会等

(1)《第102回例会》新作パフォーマンス「女は語る Mówi ONNA」by アマレヤ劇団&メノコモシモシ / 動画「アイヌとカムイのためのレクイエム Requiem dla Ajnu i Kamui」2021、札幌文化芸術劇場3F クリエイティブスタジオ、2022.11.23(水)10:00～11:30(参加者約80人)

(2)《第103回例会》ポーランドのロマン主義とは何か～ポーランド・アイヌ『祖霊祭』夜明け前/シンヌラッパ・クンネニサツ、2022.11.28(月)①13:30～15:00、かでの2・7◆お話「ポーランド・アイヌ『祖霊祭』について」ヤドヴィガ・ロドヴィッチ=チェホフスカ◆講演「ポーランドのロマン主義～ミツキューヴィチ作『祖霊祭』の役割と意義」関口時正◆朗読『祖霊祭』第2部より:林家とんでん平②16:30～18:00、シアターZOO、劇的朗読「ポーランド・アイヌ『祖霊祭』夜明け前/シンヌラッパ・クンネニサツ Dziady polsko-ajnuskie / Przedświt - sinnurappa-kunne nisat」作・芸術監督: J・ロドヴィッチ、出演:アイヌ女性会議メノコモシモシ&アマレヤ劇団(参加者①約40人、②約60人、両方に参加約20人)

(3)ポーランド名作映画ビデオ鑑賞&交流会2023、札幌エルプラザ①《第104回例会》『エロイカ Eroica』1958 アンジェイ・ムンク Andrzej Munk 監督、2.20(月)18:30～(参加者:会員11人、一般12人)②《第106回例会》『イマジネ Imagine』2012 アンジェイ・ヤキモフスキ Andrzej Jakimowski 監督、3.13(月)18:30～(参加者:会員11人、一般12人)

(4)《第105回例会》(株式会社三菱 UFJ 銀行の寄付による)特別講演会「プロニスワフ・ピウスツキの遺したもの」①「プロニスワフ・ピウスツキが集めたアイヌの衣類」佐々木史郎②「ピウスツキが来たころと、その後の樺太アイヌの歩み」田村将人、札幌エルプラザ、2023.3.4(土)18:30～21:00(参加者70人超、うち会員14人)報告書 POLE110-2

(5)《第107回例会》創立35周年記念演奏会～ショパンと華麗なるポーランド音楽、札幌コンサートホール Kitara、2023.6.3(土)18:30～(演奏者15人、挨拶・お話3人、来場者287人)

3.(1)会誌 POLE no.107(2022.9.1)、no.108(2023.1.20)、no.109(5.1)発行

(2)紙芝居「プロニシ・ピウスツキ」ポーランド語/日本語版の印刷と寄贈

4.運営委員会

①2022.9.26 ②2023.3.20 ③7.17

5.後援事業等

(1)〈後援〉川染雅嗣ピアノリサイタル in アルテピアッツァ美唄 Vol.III 彫刻を聴く～石の声に耳を傾ける、共演:柘原享子、2022.9.10(土)

(2)〈後援〉鈴木飛鳥・坂田朋優ピアノデュオリサイタル、ザ・ルーテルホール、2022.10.16(日)

(3)〈後援〉徳田貴子ミニピアノリサイタル～ガーシュウインの歌による超絶技巧練習曲を中心に Somebody Loves Me、札幌文化芸術交流センターSCARTS コート、2022.11.28(月)

(4)〈協力〉プロニスワフ・ピウスツキ105回忌(献花、参加:安藤厚、氏間多伊子、尾形芳秀)、ウポポイ(民族共生象徴空間)記念像前、2023.5.17(水)

(5)〈後援〉井上あい子・高橋可奈子ジョイントリサイタル、ザ・ルーテルホール、2023.8.20(日)

6.会員動向(2023年度)

入会3人、退会5人、逝去2人、
会員数94人(2023.9.1現在)

[第2号議案]2023年度収支決算報告および会計監査報告について(園部真幸・稲川和幸・嵩文彦)別紙参照

[第3号議案]2024年度(2023.9-2024.8)役員等(案)について(安藤厚)

(会則第6条に基づく役員)

新任

会 長:安藤厚

副会長:塚本智宏

運営委員:安藤むつみ、池田光良、氏間多伊子、小笠原正明、柏木由美子、北浦由花里、熊谷敬子、坂田朋優、霜田英麿、園部真幸、中島洋、アグニェシュカ・ボヒワ、村田讓

事務局長:ラファウ・ジェブカ

監査委員:稲川和幸、嵩文彦

(会則第15条に基づく事務局、委員会等)

事務局:(事務局長)ラファウ・ジェブカ

(副事務局長・会計)園部真幸

(催物)氏間多伊子、(同)熊谷敬子

編集委員会:安藤厚、池田光良、氏間多伊子、熊谷敬子

広報委員会:安藤厚

(会則第16条に基づく東京事務所)

(所長)霜田英麿、(副所長)熊倉ハリーナ

[第4号議案]2024年度活動計画について(ラファウ・ジェブカ)

POLE111 (2024.1)

- 1.《第37回定例総会》&《第108回例会》第12回朗読会「午後のポエジア」豊平館、2023.10.15(日)総会1F下の広間、15:30～、午後のポエジア2F 広間、17:30～
- 2.例会等
 - (1)《第109回例会》特別講演会(トークショー)『カティンの森のヤニナ～独ソ戦の闇に消えた女性飛行士』(河出書房新社2023.3)～著者:小林文乃氏を迎えて/特別ゲスト:富田武成蹊大学名誉教授、札幌エルプラザ4F 中研修室、2023.11.5(日)14:00～16:00
 - (2)〈後援〉日本ショパン協会北海道支部創立50周年記念コンサート～ショパンに魅せられて、札幌コンサートホール Kitara 小ホール、2024.1.28(日)14:30～
 - (3)DVD「Ainu | ひと」鑑賞会 2024.3以降

- (4)ワルシャワ蜂起博物館展覧会「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」(広島、2023.11.15～2024.2.5)札幌、2024.8
- (5)午後のポエジア、名画ビデオ鑑賞会、ポーランドサロン等
- (6)その他:後援・協力依頼には随時対応
- 3.会誌 POLE no.110 & 別冊(2023.9.1)、no.111(2024.1)、no.112(2024.5)発行
- 4.運営委員会:3～4回程度
- 5.オンライン広報(HP、Facebook 等)の充実
[第5号議案]2024年度予算(案)について(園部真幸)別紙参照
[第6号議案]その他

2023年度 収支決算書 (自2022年9月1日～至2023年8月31日)

○一般会計

【収入の部】

(単位:円)

	決算	予算	増減	備考
会費	256,000	249,000	7,000	納入率3千円×98人×87%
寄付金	64,860	50,000	14,860	
雑収入	4,159	4	4,155	特) ポーランド・アイヌ祖霊祭より(4,154)、貯金利子(5)
小計	325,019	299,004	26,015	
前年度繰越金	588,316	588,316	0	
合計	913,335	887,320	26,015	

【支出の部】

(単位:円)

	決算	予算	増減	備考
事業費	123,429	130,000	△ 6,571	36総会69,391、37総会17,700 例会[104]8,628、[105]2,744、[106]14,106、 [108]1,870、[109]7,800、特) MUFG事業へ(1,190)
連絡費	107,201	80,000	27,201	郵送:36総会13,020、POLE 82,225、チラシ1,260、37総会 6,300、その他4,396
編集費	143,943	119,000	24,943	印刷:POLE [107]26,181、[108]16,246、[109]21,670、 [110]19,107、チラシ外8,461、特) 紙芝居へ(58,588)
会合費	15,045	6,000	9,045	運営委員会(3回)
事務費	63,411	15,000	48,411	インクカートリッジ、ラベル外
雑費	14,410	16,000	△ 1,590	ピウスツキ忌式花11,165、木村和保氏弔電3,245
予備費	0	521,320	△ 521,320	
小計	467,439	887,320	△ 419,881	
次年度繰越金	445,896	0	445,896	
合計	913,335	887,320	26,015	

○特別会計

【紙芝居】

(単位:円)

	収入の部	支出の部	備考
助成金	50,000		ポーランド広報文化センター
一般会計より	58,588		
製作費		108,588	印刷(105,288)、裁断(3,300)
合計	108,588	108,588	

【ポーランド・アイヌ祖霊祭】

(単位:円)

	収入の部	支出の部	備考
助成金	154,154		ポーランド広報文化センター(10万)、ピウスツキ博物館(54,154)
開催経費		150,000	出演料(林家とんでん平 5万、アマレヤ劇団 10万)
一般会計へ		4,154	残余金
合計	154,154	154,154	

【三菱UFJ銀行からの寄付によるプロジェクト(MUFG)】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備 考
寄付金	500,000		三菱UFJ銀行より
一般会計より	1,190		
講演会開催経費		167,911	会場費(12,500)、講師外旅費・謝礼・原稿料(129,515)、チラシ・報告書印
図書・映像ソフト		278,359	ポーランド・アイヌ関係図書(124,635)、ポーランド映画ソフト(72,724)、
購入費			アイヌ関係映像ソフト(81,000)、
その他		54,920	消耗品(6,159)、郵送料(48,761)
合 計	501,190	501,190	

【創立35周年記念演奏会】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備 考
チケット売上	719,632		出演者(36万)、伴奏者(8万)、運営委員・会員(122千)、当日(46千)、プレイガイド(12万-手数料8,368)
助成金・広告料・寄付	200,000		道銀文化財団(4万)、ポーランド広報文化センター(5万)、札幌市民芸術祭事務局(8万)、カワイ楽器(1万)、ヤマハミュージック(1万)、寄付1名(1万)
交通費		207,000	出演者・講演者・舞台監督(11千×17人)、挨拶者・譜めくり(5千×4人)
会場使用料		200,305	舞台技術料・レセプション料(82,765)、施設+小リハーサル室使用料(29,300)、物件使用料(88,240)
ピアノ調律料		60,500	スタインウェイ2台+立会料
印刷費		64,400	チラシ6,000・チケット700・プログラム500印刷(32,070)、チラシ・チケット・プログラムデザイン(32,330)
その他		119,454	通信費(14,414)、雑費(10,440)、撮影記録費(30,000)、会議費(18,600)、打ち上げ補助(46,000)
演奏部会基金へ		267,973	
合 計	919,632	919,632	

【演奏部会基金】

(単位：円)

	収入の部	支出の部	備 考
前期繰越金	0		
特別会計より	267,973		特) 創立35周年記念演奏会
合 計	267,973	0	

会計の監査にあたり、関係書類及び通帳を照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたのでここに報告しま

2023年9月27日 監査委員 嵩文彦 印

2023年9月27日 監査委員 稲川和幸 印

2024年度 収支予算案 (自2023年9月1日～至2024年8月31日)

(単位：円)

【収入の部】	予 算	前年度決算	増 減	22年度決算	備 考
会費	229,500	256,000	△ 26,500	245,500	3千円×90人×85%
寄付金	50,000	64,860	△ 14,860	58,000	
雑収入	4	4,159	△ 4,155	5	貯金利子
小 計	279,504	325,019	△ 45,515	303,505	
前年度繰越金	445,896	588,316	△ 142,420	511,432	
合 計	725,400	913,335	△ 187,935	814,937	
【支出の部】					
事業費	100,000	123,429	△ 23,429	72,885	37総会4万、例会4回×1.5万
連絡費	55,000	107,201	△ 52,201	51,678	ポーレ発送等(2.5万×2号)、その他5千
編集費	70,000	143,943	△ 73,943	68,548	ポーレ(2万×2号)、チラシ・配布資料等3万
会合費	28,000	15,045	12,955	4,368	運営委員会 (7千×4回)
事務費	38,000	63,411	△ 25,411	13,124	用紙、文具、コピー、プリンターインク外
雑費	15,000	14,410	590	16,018	HP経費外
予備費	419,400	0	419,400	0	
小 計	725,400	467,439	257,961	226,621	
次年度繰越金	0	445,896	△ 445,896	588,316	
合 計	725,400	913,335	△ 187,935	814,937	

○特別会計

【108例会】 午後のポエジア2023.10.15 (助成金 予定) 50,000 ポーランド広報文化センター

【109例会】 トークショー「カティンの森のヤニナ」2023.11.05 (助成金 予定) 50,000 ポーランド広報文

【演奏部会基金】 前年度繰越金 267,973